

まちの^な成り立ち ーまちはどうやってできるのかな



- ① きゅうかいどう 旧街道
- ② てつどう 鉄道
- ③ 町・村
- ④ りよう 土地利用

きゅうかいどう ① 旧街道



つくいみち 津久井道

この街道は、津久井・愛甲の絹を江戸へ送るいわゆる「シルクロード」として利用されると同時に、黒川炭などの特産物も運ばれていました。
しかし幕末の安政の開港にともない絹は横浜へ運ばれるようになり、江戸向けの物資も減りました。

ふちゅう 府中街道

この街道は、川崎を含む武蔵国の国府が置かれていた府中へ続く道です。
鎌倉に幕府が開かれるようになると、各地の武将と鎌倉を結ぶ政治・軍事上の道、「鎌倉道」が生まれ、府中街道の一部もその役目を果たしていました。

おおやま 大山街道

この街道は、古くから大山詣での道として知られ、また駿河の茶や真綿、伊豆の椎茸、乾魚などの物資を輸送する商業ルートとしても重要な役割を果たしてきました。

なかいはらかいどう 中原街道

この街道は、平塚^{ひらつか}の中原^{なか}に徳川家康^{とくがわいえやす}が御殿^{ごてん}をつくり、そこを^{とお}通^{えど}って江戸^むへ向かいました。
中原区^くの区名は、中原街道^{ゆらい}が由来^{ゆらい}と言われています。

とうかいどう 東海道

江戸^{きょうと}と京都^{むす}を結ぶ道です。
川崎宿^{かわさきしゆく}は他の宿^{ほか}より遅^{おく}れて元和^{げんな}9年（1623年）頃^{ごろ}に作られました。
東海道^{とうかいどう}を上^{のぼ}る旅人^{たびひと}には、六郷^{ろくごう}の渡^{わた}しを控^{ひか}えた最後^{さいご}の宿泊地^{しゆくはくち}に、そして川崎大師^{かわさきだいし}の参詣^{さんけい}の拠点^{きよてん}として賑^{にぎ}わった宿場^{しゆくば}でした。

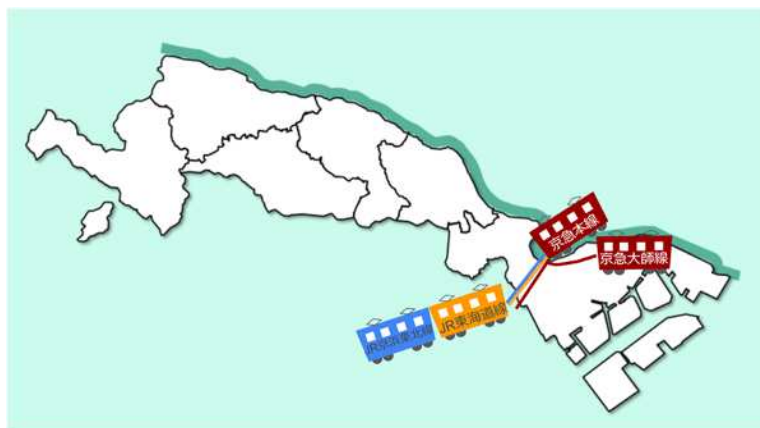
②

てつどう
鉄道

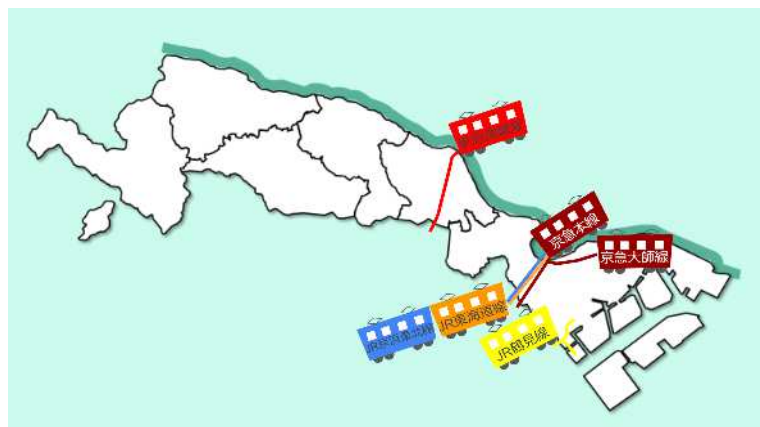
- ① 1872年、新橋駅（現・汐留駅）－横浜駅（現・桜木町駅）間で日本最初の鉄道が開通。川崎駅は日本で3番目の鉄道駅として開業。



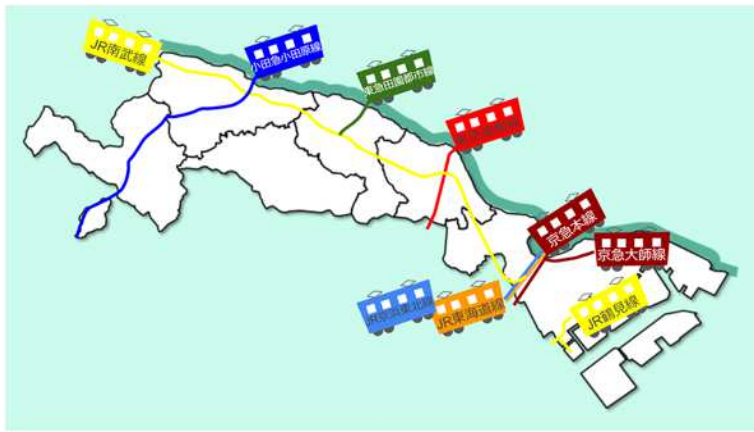
- ② 1899年～1902年、川崎駅（現・京急川崎駅）－大師駅（現・川崎大師駅）間で大師電気鉄道が開通。1901年～1905年、品川駅（現・北品川駅）－神奈川停車場前駅（現・神奈川駅）間が開業。



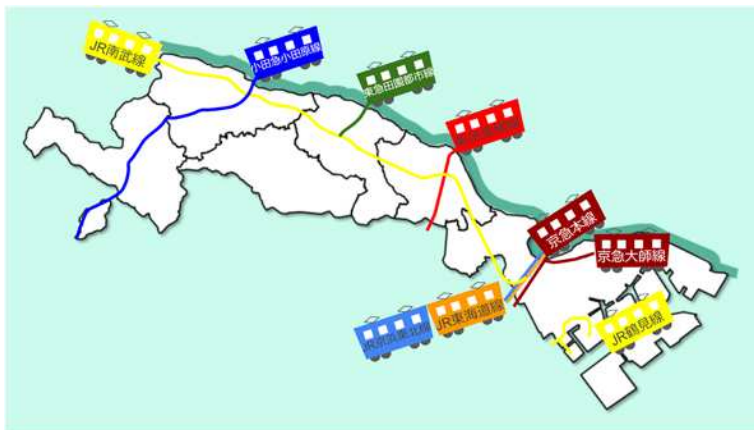
- ③ 1914年、東京駅－高島町駅（のちに廃止）間で京浜線（のちのJR京浜東北線）として開通。



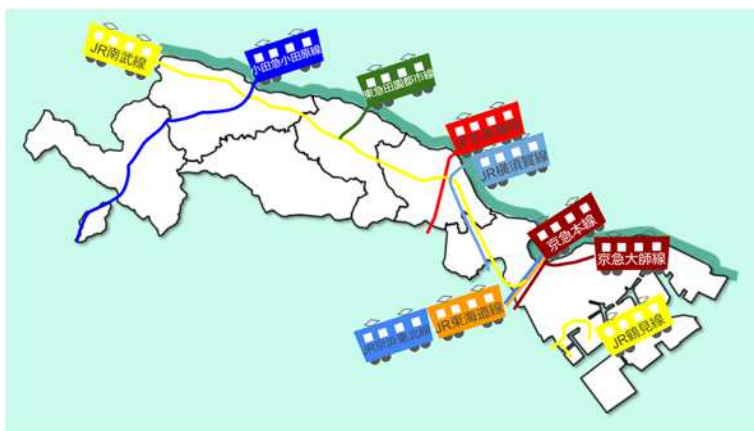
- ④ 1926年、丸多摩川駅（現・多摩川駅）－神奈川駅間で東京横浜電鉄（のちの東急東横線）が開通。浜川崎駅－弁天橋駅間で鶴見臨海鉄道（のちのJR鶴見線）が開通。



- ⑤ 1927年、川崎駅—大丸駅（現・南多摩駅）間で南武鉄道（のちのJR南武線）が開通。新宿駅—小田原駅間で小田急小田原線が開通、二子玉川駅—溝の口駅間で多摩川電気鉄道（のちの東急田園都市線・目黒線）が開通。



- ⑥ 1928年、JR鶴見線浜川崎駅—扇町駅間が延伸開通。



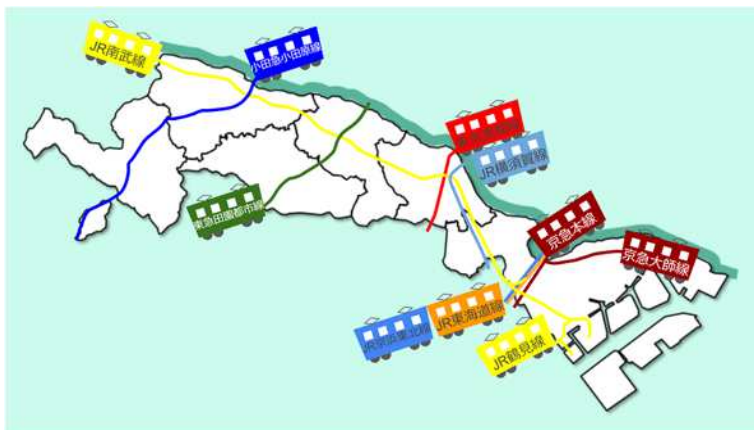
- ⑦ 1930年、品川駅—新鶴見操車場—鶴見駅間で品鶴線（貨物線）が開通。1980年に旅客化され、JR横須賀・総武快速電車が走るようになった。



- ⑧ 1930年、JR南武支線尻手駅—浜川崎駅間が開通。



- ⑨ 1944年、京急大師線川崎大師駅—^{こじま}小島
^{しんでん}新田駅が延伸開通。



- ⑩ 1966年、東急田園都市線溝の口駅—^{なが}長
^{つた}津田駅間が延伸開通。

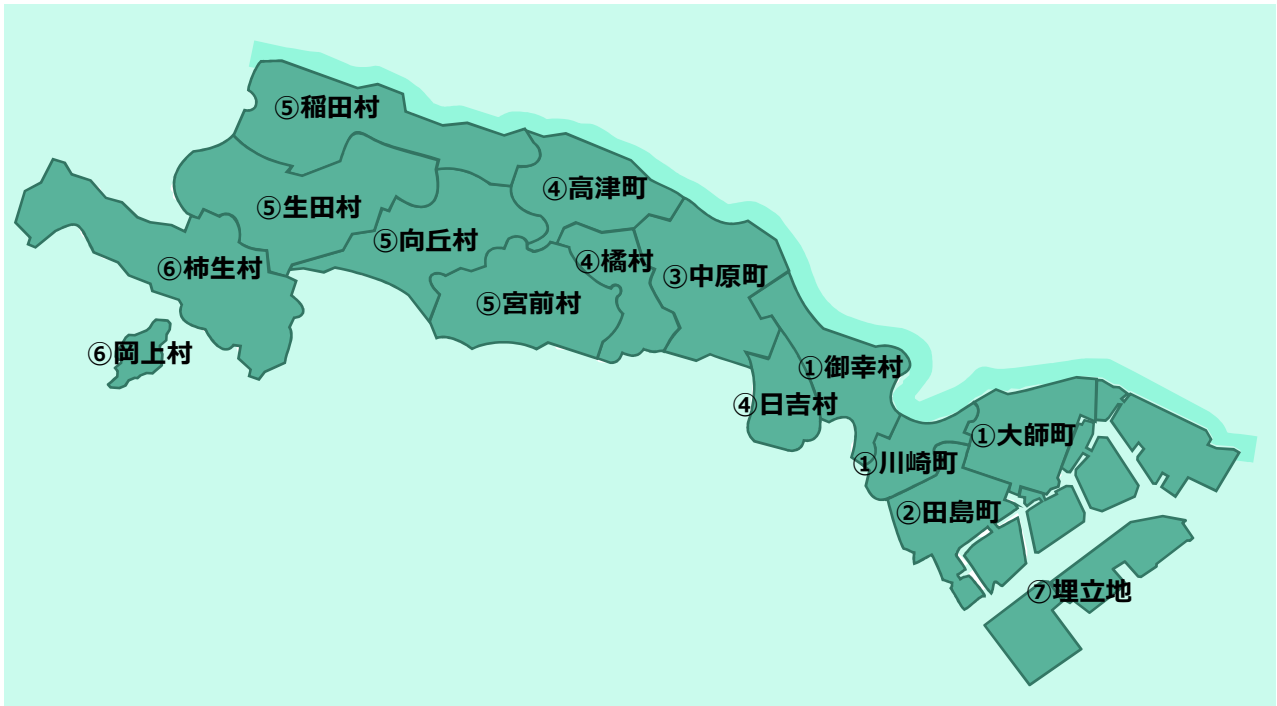


- ⑪ 1971年、^{けいおう}京王多摩川駅—^{さがみはら}京王よみうり
ランド駅間で京王相模原線が開通。
1974年、京王よみうりランド駅—京王
多摩センター駅間が開通。小田急多摩
線、^{しんゆりがおか}新百合ヶ丘駅—小田急永山駅間が
開通。



- ⑫ 2000年、^{ちようふ}田園調布駅—^{むさしこすぎ}武蔵小杉駅間、
東急目黒線が^{うんこうかいし}運行開始。2008年、東急
目黒線が^{ひよし}武蔵小杉駅—^{ひよし}日吉駅間を延伸。
2009年、東急^{おおいまち}大井町線が溝の口駅まで
延伸。

③ 町・村



- ① 1924年に川崎^{かわさき}市が誕生！大師^{たじま}町、川崎^{かわさき}町、御幸^{みゆき}村の3つの町村が集まって誕生したよ。
- ② 1927年に田島^{たじま}町が仲間入り。
- ③ 1933年に中原^{なかはら}町が仲間入り。
- ④ 1937年に日吉^{ひよし}村の一部、橋^{いちは}村、高津^{たちばな}町が仲間入り。
- ⑤ 1938年に宮前^{みやまえ}村、向丘^{むかいがおか}村、生田^{いくた}村、稲田^{いなだ}村が仲間入り。
- ⑥ 1939年には柿生^{かきお}村、岡上^{おかがみ}村が仲間入り。岡上村は明治時代から柿の生産と出荷を通じて柿生村と交流^{こうりゅう}があったことから、柿生村と一緒に川崎市に仲間入りすることになったんだよ。
- ⑦ 1941年から1981年の間に海が埋め立てられたよ。こうして、今のような形に広がっていったんだよ。

④ 土地利用

土地の使われ方はどのように変化しているのかな。

1971年



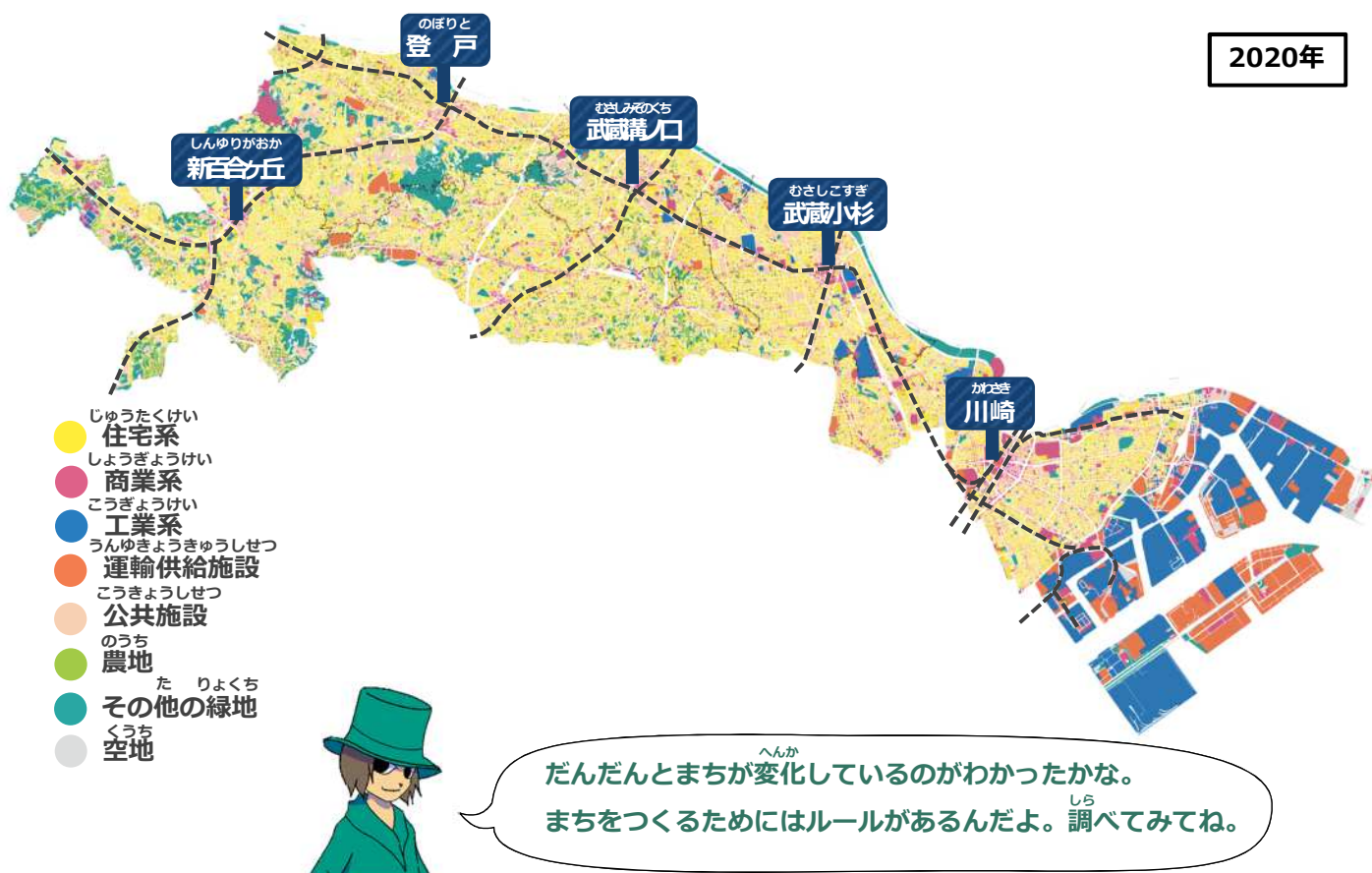
1981年



2000年



2020年



はんれい せつめい
凡例の説明

じゅうたくけい
住宅系



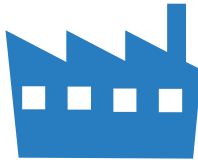
いっこだ じゅうたく
一戸建ての住宅、マンション、アパートなど

しょうぎょうけい
商業系



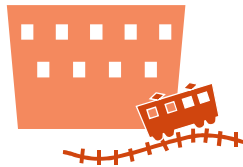
お店、レストラン、ホテル、ゲームセンターなど

こうぎょうけい
工業系



こうじょう
工場など

うんゆきょうきゅうせつ
運輸供給施設



えき そうご いちば
駅、バスターミナル、倉庫、市場など

こうぎょうしせつ
公共施設



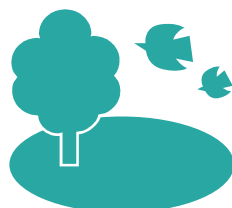
がっこう としょかん やくしよ
学校、図書館、役所など

のうち
農地



田んぼ、畑など

た りよくち
その他の緑地



公園、緑地など